

# 環境マネジメントシステム構築

生産活動や製品にかかわる環境負荷を低減するためには、ISO14001に沿った活動が有効です。このため、沖電気ではISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを、グループ会社を含む拠点へ導入しています。

## 1. ISO14001 認証取得

沖電気は1996年に「1998年度までにグループ会社を含む主要生産拠点でISO14001を認証取得する。」という目標を立て、活動しました。

その結果、下記の拠点が認証取得を行い、初期の目標を達成することができました。

このため、1999年策定のOKIエコ・プラン<sup>21</sup>では、認証取得対象拠点を拡大し、現在は、これに沿い、活動中です。

ISO14001 認証取得拠点

会社名	取得年月
宮崎沖電気	97年 2月
八王子地区	97年 7月
Oki Semiconductor Manufacturing Group	97年 8月
高崎地区	97年 11月
富岡地区	97年 12月
本庄地区	98年 2月
長野沖電気	98年 2月
宮城沖電気	98年 3月
沼津地区	98年 3月
沖データ	98年 3月
Oki (UK) Ltd.	98年 4月
Oki (Thailand) Co., Ltd	98年 7月
多摩沖電気	98年 7月
沖プリントドサーキット	98年 12月
芝浦・幕張地区（非生産拠点）	99年 3月

## 2. 内部環境監査員の養成

環境マネジメントシステムを評価し、その信頼性を確保するためには、定期的な監査が必要です。

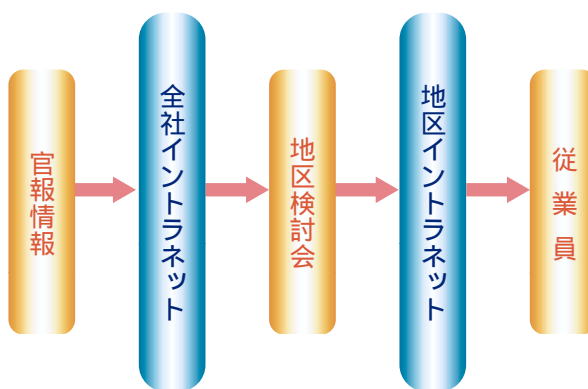
このため、沖電気では内部環境監査員養成教育を、社内で開催しています。1999年度は40名の教育を修了しました。この結果、内部環境監査員養成教育修了者の延べ人数は、259名に達しました。

また、内部環境監査員の中から経験等を考慮し内部環境監査でリーダーとなる者を認定していますが、この認定者数も延べ80名に達しました。

## 3. 法規制にかかわる情報の入手と伝達

環境マネジメントシステムでは、法律の制定、改定、廃止などの情報を適宜入手し、社内の規定を改正することがきわめて重要です。この作業を沖電気では次のように行っています。

まず、地球環境部が政府発行の官報をチェックし、環境に関する法令を抽出する。この情報を全社イントラネットを通し、沖電気各地区とグループ会社に伝達する。情報を受け取った側では、この情報と、条例など独自に入手した情報を合わせ、定期的に検討会を開催する。検討会では入手した情報が、当地区に適用を受けるか検討し、適用を受ける場合は、社内規定を改正する。結果を地区イントラネット等で従業員に伝達する。



法規制情報の流れ